

# 首里城における建物の復元タイプ

首里城復元に向けた技術検討委員会(RI.12.27)資料2「前回復元時の概要」より

タイプ	大分類	定義
特A	復元	遺構、図面、古写真、配置図、事例、聞き取りの成果等の根拠資料に基づいて、往時の材料・工法でより精度を上げて内外部とも復元した建築物。
A	復元	遺構、古写真、配置図、事例、聞き取り等の根拠資料に基づいて、往時の材料・工法で内外部とも復元した建築物。
B	準復元	遺構、古写真(内部写真含む)、配置図、事例、聞き取り等の根拠資料に基づいて、往時の材料・工法で内外部とも復元した建築物。聞き取りについては、一部想定している。
C	外観復元	往時の聞き取りは不明であるが、遺構、古写真、配置図、事例等の根拠資料に基づいて外部を復元し、内部は公園機能を重視した建築物。
D	外観想定復元	建物を写した古写真は確認されていない。遺構や配置図、古絵図、事例に基づいて外部を想定復元し、内部は公園機能を重視した建築物。
E	外観再現	建物の位置や規模等を確認できる遺構や古写真はない。配置図、古絵図、事例に基づいて外部を再現し、内部は公園機能を重視した建築物。
F	平面表示	建物の位置や規模等を確認できる遺構や古写真はなく、配置図と古絵図等で建物の雰囲気わかる程度。建物の輪郭のみを平面的に表示。



施設名	供用年	構造
正殿	平成4年	木造2重3階建
北殿		鉄筋コンクリート造 (外観木造)
南殿・番所		
奉神門	平成19年	木造平屋建(地下部: 鉄筋コンクリート造)
書院・鎖之間		鉄筋コンクリート造 一部木造2階建 (外観木造)
黄金御殿・近習 詰所(つめしよ)		
寄満		
奥書院	平成26年	木造平屋建
二階御殿	平成31年	1階鉄筋コンクリート造 2階木造

《首里城での復元年代と林政八書》  
 1453 首里城全焼 (志魯・布里の乱)  
 1660 首里城焼失  
 1709 首里城焼失  
 1737-1751 蔡温『林政八書』による森林整備  
 1768 正殿の修理記録『寸法記』  
 「百浦添御殿普請付御絵図并御材木寸法記」  
 1846 首里城の修理記録『尚家文書』  
 「百浦添御殿御普請日記」他3冊  
 1945 首里城焼失 (沖縄戦)

○復元に当たっては、歴史的状況や資料・情報の有無、利用方策などの観点から総合的に判断し、整備水準や優先度・重要度の目安となるような復元タイプを設定。  
 (特Aタイプの正殿は、躯体を含む建物全体を木造で復元)

沖縄県首里旧城図(※明治初期)に加筆  
 ※那覇市歴史博物館提供